

要 請 書

平成24年10月18日

厚木基地騒音対策協議会

平成24年10月18日

厚木基地騒音対策協議会

会 員

神奈川県知事	黒岩 祐治 (会長)
横浜市 長	林 文子
相模原市 長	加山 俊夫
藤 沢 市 長	鈴木 恒夫
茅ヶ崎 市 長	服部 信明
大 和 市 長	大木 哲
海老名市 長	内野 優
座 間 市 長	遠藤 三紀夫
綾 瀬 市 長	笠間 城治郎
町 田 市 長	石阪 丈一
神奈川県議会議員	竹内 英明
神奈川県議会議員	藤代 ゆうや
神奈川県議会議員	平本 さとし
神奈川県議会議員	菅原 直敏
神奈川県議会議員	谷口 かずふみ
神奈川県議会議員	笠間 茂治
横浜市 会 議 長	佐藤 茂
相模原市議会議員	中村 昌治
藤沢市議会議員	渡辺 光雄
茅ヶ崎市議会議員	柁木 太郎
大和市議会議員	大谷 仁
海老名市議会議員	氏家 康太
座間市議会議員	沖本 浩二
綾瀬市議会議員	綱嶋 洋一
町田市議会議員	田中 修一

顧 問

衆議院議員	中塚 一宏
衆議院議員	橘 秀徳
衆議院議員	本村 賢太郎
衆議院議員	河野 太郎
衆議院議員	阿部 知子
衆議院議員	甘利 明
衆議院議員	勝又 恒一郎
衆議院議員	後藤 祐一
参議院議員	牧山 ひろえ
参議院議員	水戸 将史
参議院議員	松 あきら
参議院議員	小泉 昭男
参議院議員	中西 健治
参議院議員	金子 洋一

平成 24 年 10 月 18 日

殿

厚木基地騒音対策協議会

会長（神奈川県知事）

黒 岩 祐 治

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要請

厚木基地周辺では、200万人を超える住民が、航空機騒音により、長年にわたり堪え難い苦痛を強いられており、神奈川県及び基地周辺市は、かねてより、このような航空機騒音問題の抜本的解決を求めてまいりました。

こうした中、平成18年5月には在日米軍再編協議において、騒音被害の主な原因である空母艦載機を2014（平成26）年までに移駐させることや恒常的訓練施設を2009（平成21）年7月又はその後のできるだけ早い時期に選定することを目標とすることが日米両国政府間で合意されました。しかし、移駐の期限まで2年余りとなり、多くの課題があると思われる中で、移駐についての具体的なスケジュールや進捗状況等についての情報提供が未だにありません。

また、恒常的訓練施設については、ロードマップ^(注1)では移駐の前提とはされていないものの、依然として設置場所が特定されていません。

さらに、移駐実現までの間、基地周辺の住民は、特にNLP^(注2)前後の激しい騒音や、墜落、部品落下、不時着などの事故への不安にさらされ続けなくてはなりません。

特に本年においては、2月にEA6Bプラウラーからの部品落下事故が発生したことに加え、5月22日から24日までの3日間にわたり、空母艦載機の着陸訓練及びその後に深夜飛行が実施され、周辺住民はさらなる負担や耐え難い苦痛を強いられました。

三次にわたる騒音訴訟でも、基地周辺住民が受忍限度を超える騒音被害を受けているとの司法判断がなされていることは、その負担の深刻さを示しています。

については、厚木基地騒音対策協議会では、一日も早い騒音問題の抜本的解決を図るため、国の責任において、先の二国間合意を踏まえ、特に次のことを早急に実現するよう要請いたします。

また、文書にてご回答くださいますよう併せてお願いいたします。

注1：ロードマップ… 在日米軍再編協議において平成18年5月1日に合意された内容を記載した文書。正式には「再編実施のための日米のロードマップ」。

注2：NLP … Night Landing Practiceの略

1 空母艦載機の移駐等を着実に実施すること

- (1) 貴職におかれては、空母艦載機の移駐の早期実現のため、施設整備や訓練空域の調整などを着実にを行うとともに、移駐にかかる諸課題の解決に向けた協議等に全力を尽くされるよう求めます。
- (2) 移駐の具体的なスケジュールや現在の進捗状況、移駐後の厚木基地周辺における騒音状況の予測について、早期に情報を提供するよう要請します。

2 恒常的訓練施設を確保すること

2009（平成21）年7月又はその後のできるだけ早い時期に選定することを目標とするとされている恒常的訓練施設については、貴職の責任において、早期に選定し、移駐実現までに必要な施設整備等を終えるよう、また、その見通しについて、速やかに情報を提供するよう要請します。

3 移駐実現までの間も、騒音問題の解決に積極的に取り組むこと

- (1) NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練の硫黄島の活用等

貴職におかれては、人口密集地域にある厚木基地周辺住民の深刻な騒音被害の状況を深く認識され、NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練における硫黄島の活用などについて、積極的に米側と調整するよう、強く要請します。

その実現に向けて、

ア 本協議会が提案している、いわゆる「直結方式」^(注3)や硫黄島での予備日の設定など、必要な措置についての多角的な検討を行うこと

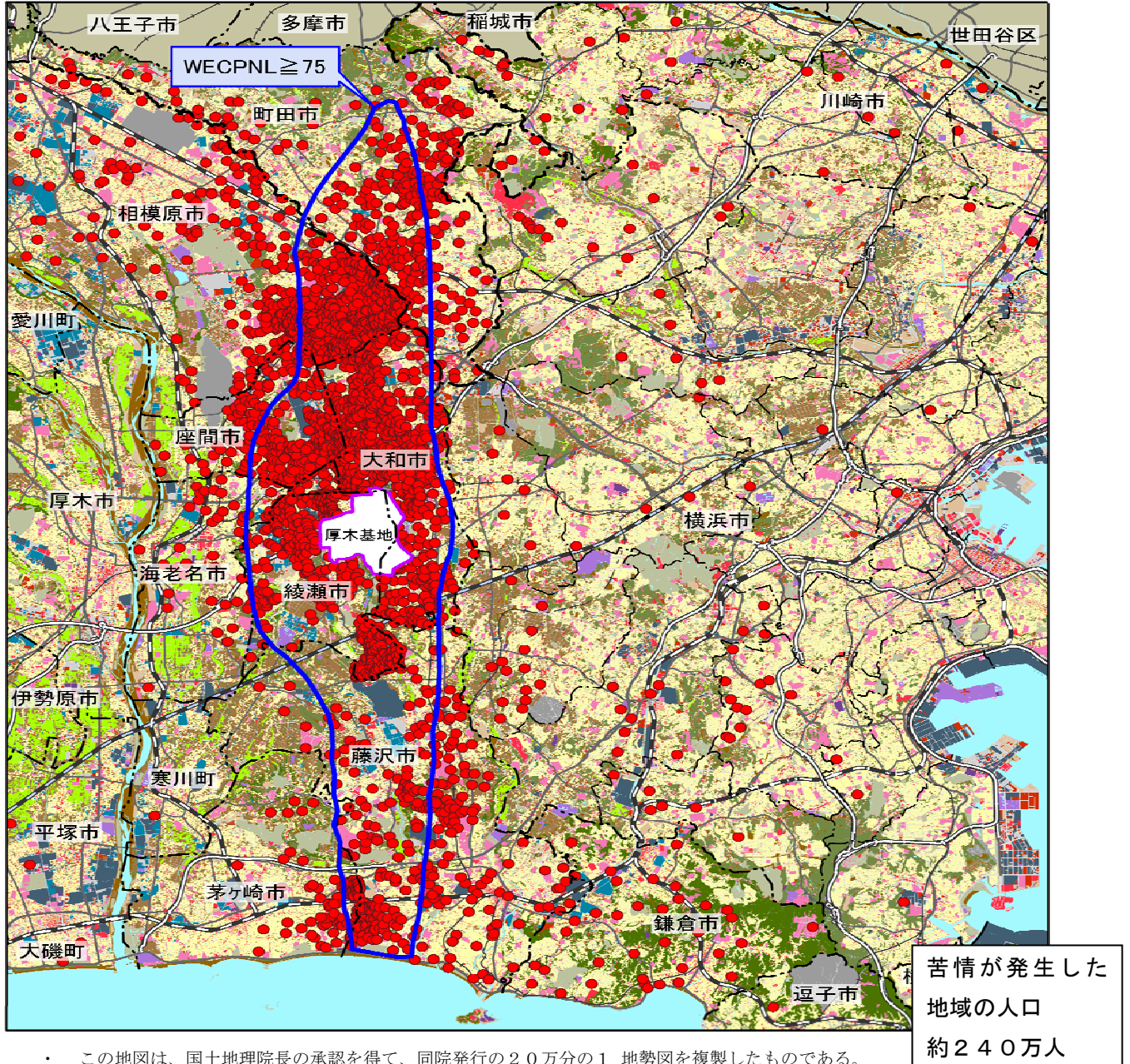
イ 支援態勢、施設の一層の拡充、整備を推進することを求めます。

- (2) 激しい騒音の発生が予想される飛行に関する事前情報提供
住民の苦痛を少しでも軽減・緩和するために、NLPに限らず、激しい騒音の発生が予想される飛行については、貴職の責任において、適時、的確な情報提供を行うとともに、住民への十分な説明を行うよう要請します。

注3：直結方式・・・空母艦載機の帰還と着艦を、空母と硫黄島の間で直接行うとともに、NLPと通常訓練をすべて硫黄島で行う方式

騒音苦情の発生地点で見る周辺住民への影響

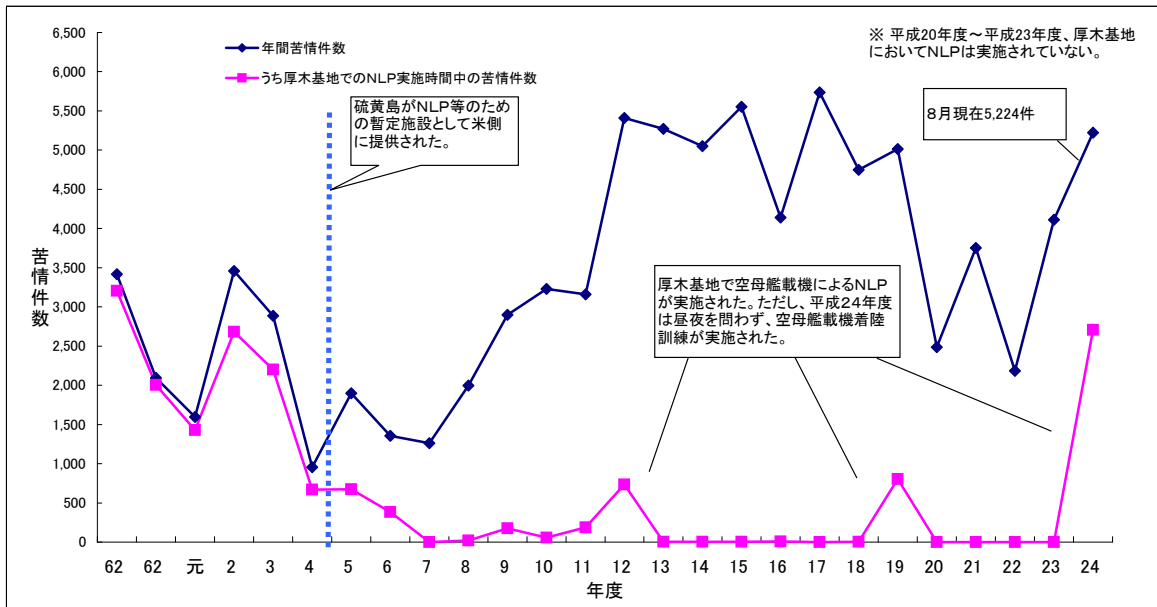
- 平成 23 年度に、県及び厚木基地周辺 12 市に寄せられた苦情から、不明分等を除いた 3,012 件について、その発生場所を示した。(地図上の赤丸 1 つは、町名まで判明した苦情 1 件を表す。)
- 青い線は、国が平成 15、16 年度に実施した騒音調査に基づく WECPNL75 のコンターライン。



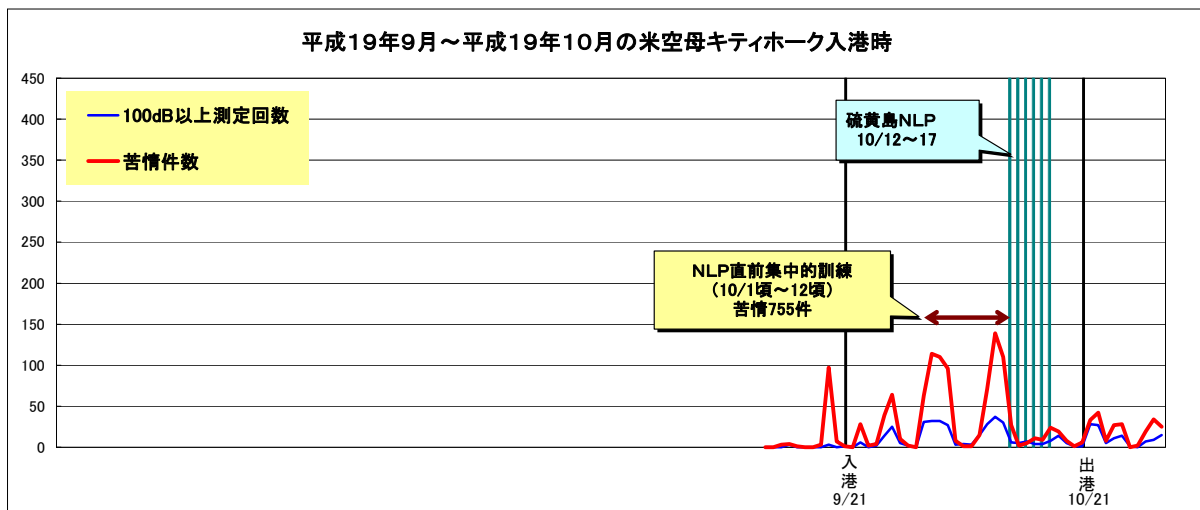
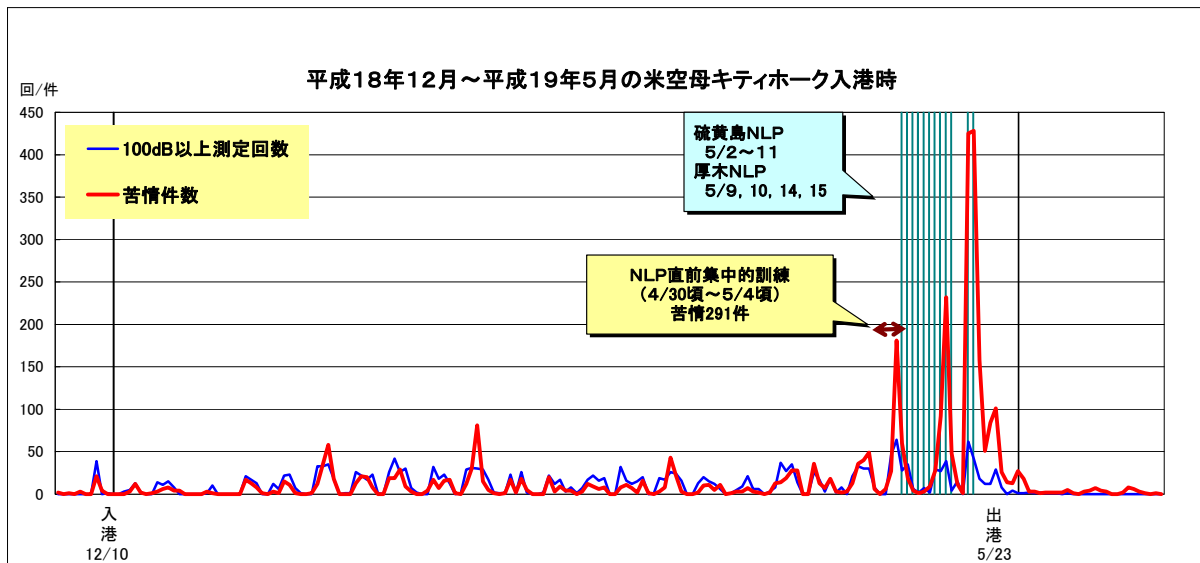
- ・ この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図を複製したものである。(承認番号 平 2 4 関複、第 4 0 号)
- ・ 「平成 1 7 年度神奈川県都市計画基礎調査」及び「平成 1 9 年度東京都土地利用現況」を用いて作成

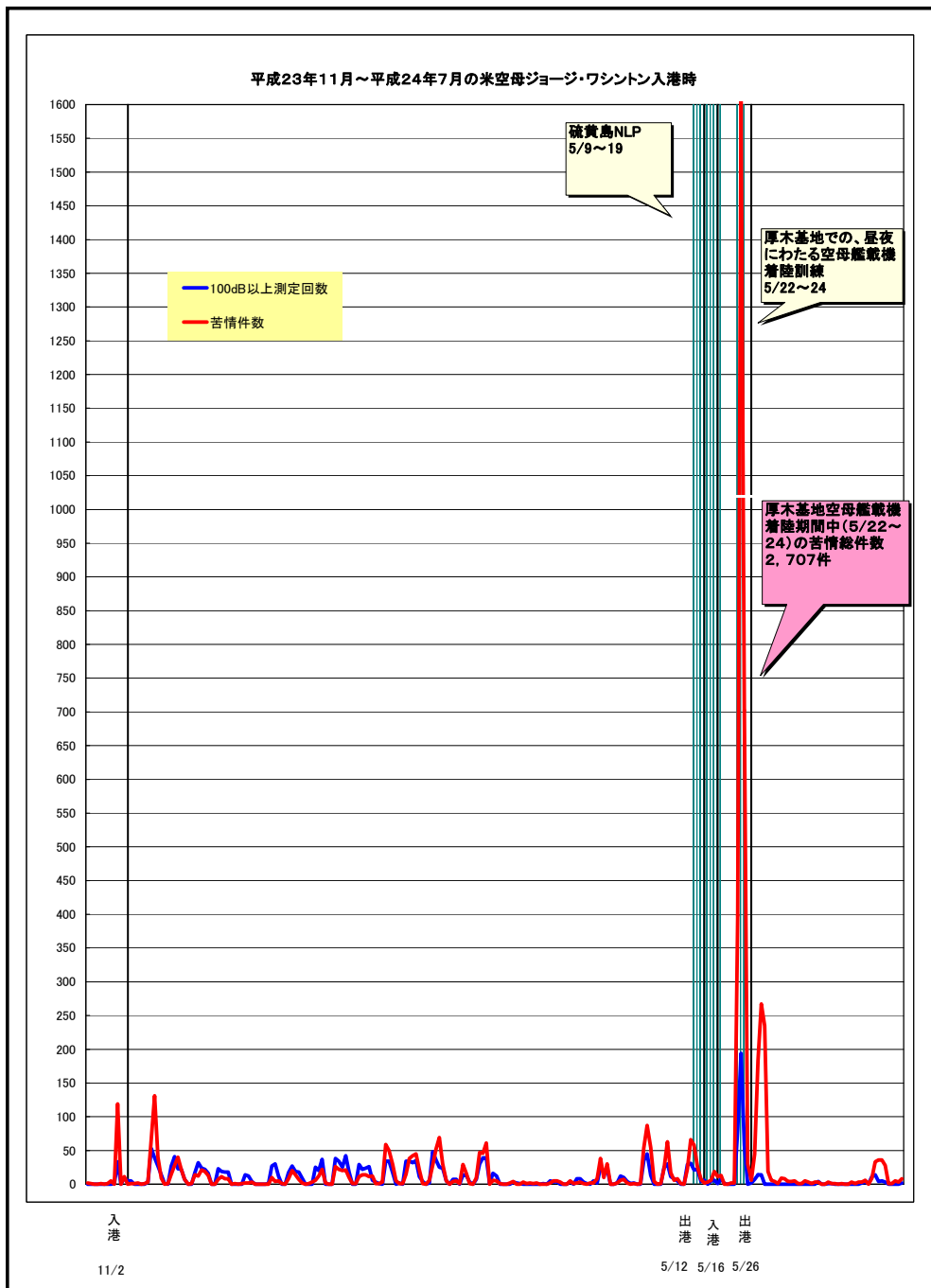
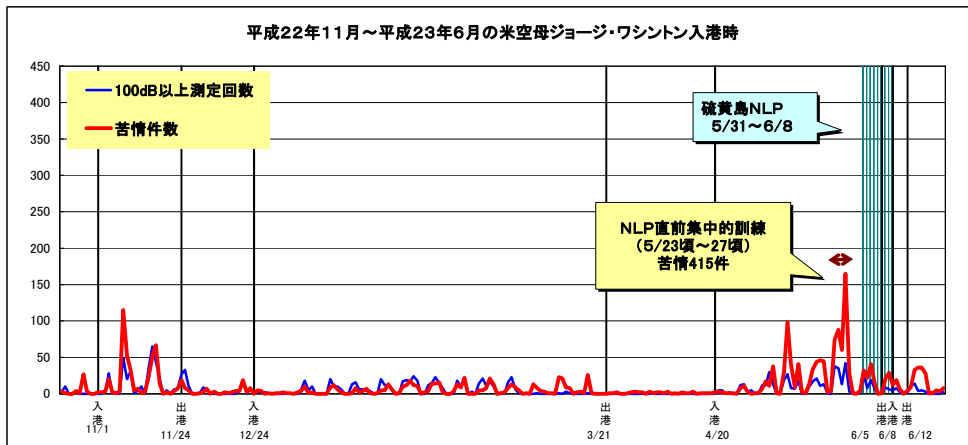
苦情受けた自治体	大和	綾瀬	相模原	藤沢	茅ヶ崎	海老名	座間	横浜	町田	川崎	鎌倉	平塚	県	合計
苦情件数	662	318	705	290	53	47	303	62	303	15	30	4	220	3,012

(グラフー1) 年度別苦情件数及びNLP時間中の苦情件数

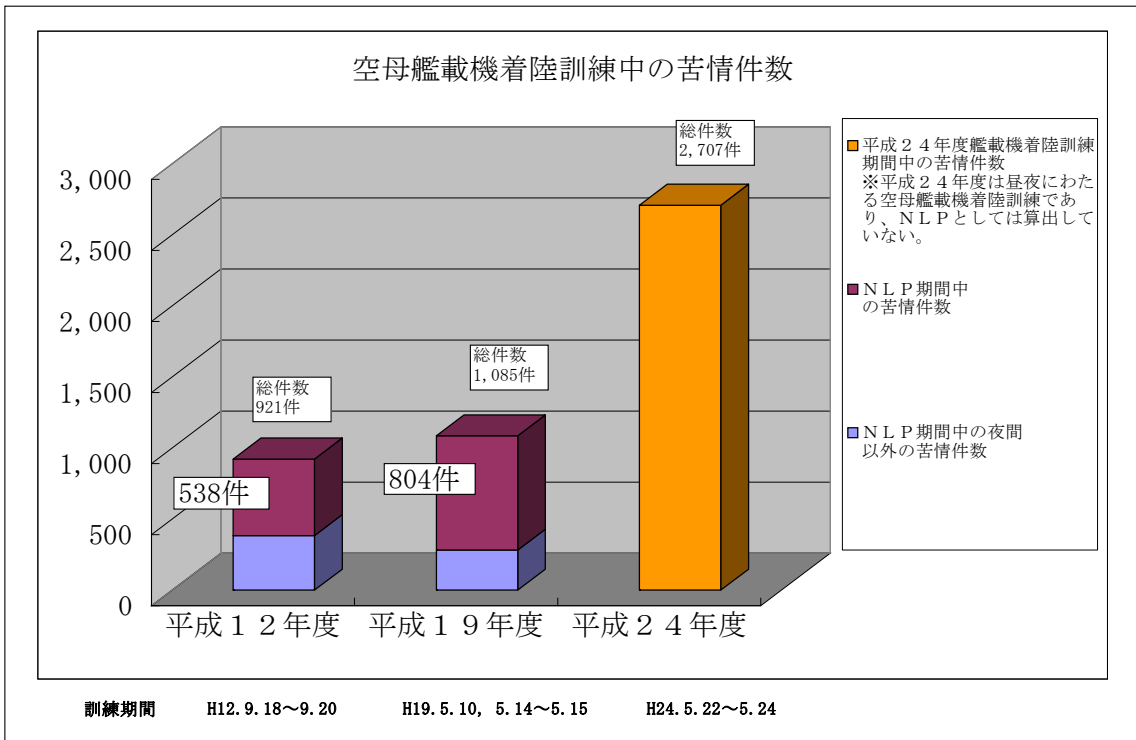


(グラフー2) 空母入港中の騒音測定回数及び苦情件数の状況

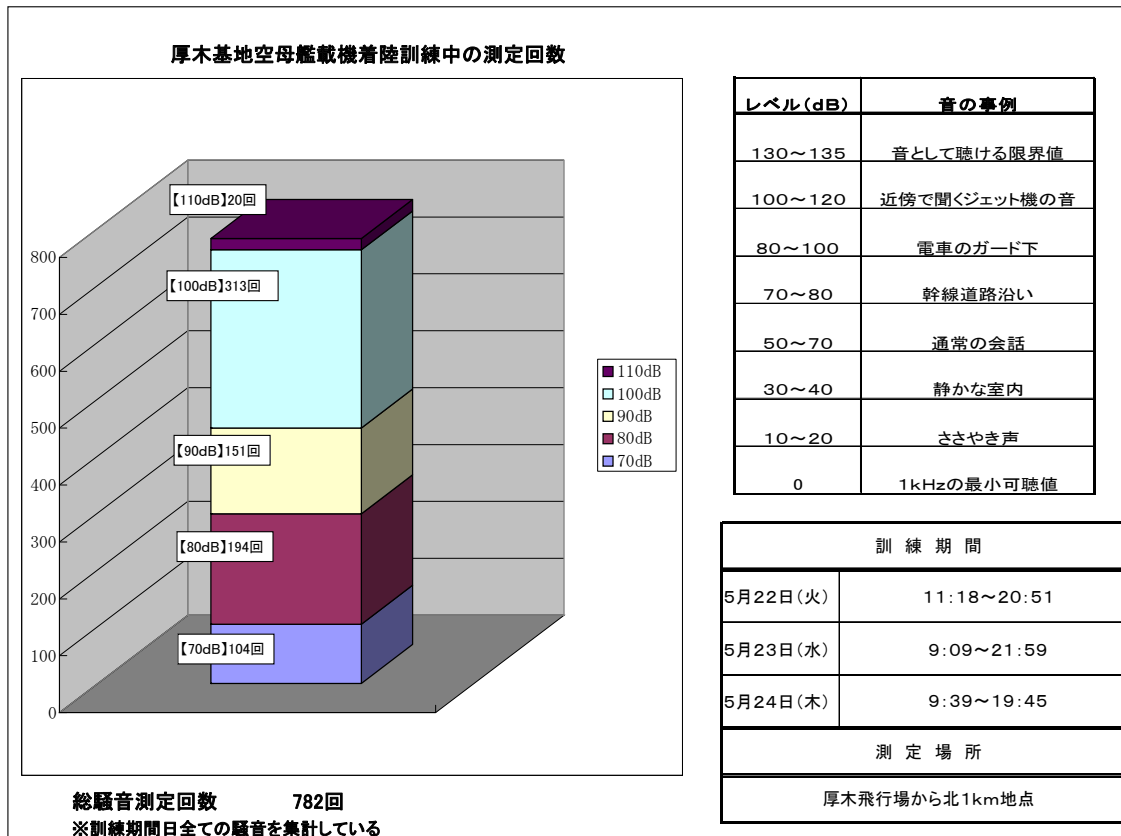




(グラフー3) 厚木基地空母艦載機着陸訓練中の苦情件数



(グラフー4) 平成24年度厚木基地空母艦載機着陸訓練中の測定回数等



厚木基地問題に関する近年の状況

平成 14 年 2 月	日米両政府間で、できる限り多くのNLPを硫黄島において実施することが了解された。
14 年 3 月	厚木基地でNLPが実施された。
14 年 9 月	E A 6 Bプラウラーからエンジンのパネルが落下。
14 年 5 月	デモンストレーションフライトが廃止された。
14 年 10 月	厚木基地でNLPが実施された。
15 年 1 月	厚木基地でNLPが実施された。
15 年 1～ 2 月	瀬戸内海最大の無人島にNLP訓練施設を含む防衛施設の誘致の動きがあったが、白紙撤回となった。
15 年 3 月	S H 6 0ヘリから部品落下。
15 年 5 月	キャンプ座間所属のU H 6 0ヘリが上智大学グラウンドに不時着。
15 年 10 月	厚木基地でNLPを実施するとの通告があったが、初めて硫黄島での日程を延長してNLPを実施し、厚木基地では実施されなかった。
15 年 11～12 月	F A 1 8 Fスーパーホーネット戦闘攻撃機 1 3機が、F 1 4 トムキャットに代えて、配備された。
16 年 2 月	厚木基地でNLPが実施された。
16 年 7 月	厚木基地でNLPが実施された。
	第五空母航空団所属のヘリから銃弾 2 0 0発が落下した。
16 年 8 月	横田基地所属のヘリが、みなとみらい地区ヘリポート付近に不時着。
16 年 10 月	F A 1 8 Eスーパーホーネット戦闘攻撃機 1 3機がF A 1 8 Cホーネットに代えて、追加配備された。
16 年 11 月	F A 1 8 Cホーネットからミサイルの羽根の一部が落下。
16 年 12 月	F A 1 8 Cホーネットから部品の一部が脱落し、藤沢市内の工場の屋根に穴を開けた。
17 年 1 月	厚木基地でNLPが実施された。
17 年 2 月	キャンプ座間所属のヘリが伊勢原市の成城学園グラウンドに不時着。
17 年 4 月	飛行を終えて厚木基地に戻った第五空母航空団所属の艦載機 2機からハシゴの一部等の部品が紛失しているのがわかった。
17 年 5 月	厚木基地でNLPが実施された。
	厚木基地所属のヘリが部品を紛失。
17 年 7 月	藤沢市片瀬海岸に厚木基地所属のヘリが不時着した。
17 年 10 月	厚木基地でNLPが実施された。
	在日米軍再編協議において、空母艦載機の移駐案が合意され、「日米同盟：未来のための変革と再編」（中間報告）が公表された。
18 年 1 月	約 2 0 年ぶりに住宅防音工事区域の見直しが行われた。
18 年 5 月	在日米軍再編協議において、空母艦載機の移駐が合意され、「再編実施のための日米のロードマップ」（最終報告）が公表された。
	厚木基地でNLPが実施された。

18年 5月	第五空母航空団所属のC2プロペラ機が航空機の部品の一部を落下。 在日米軍再編に関する基本方針が閣議決定された。
18年 7月	厚木第三次騒音訴訟の控訴審において、WECPNL75以上の騒音は受忍限度を超え違法との判決が出された。 (上告断念により確定)
18年 10月	厚木基地でNLPが実施された。 第五空母航空団所属のヘリから懐中電灯が落下した。
19年 2月	FA18が部品を紛失。
19年 5月	厚木基地で約7年ぶりに空母艦載機によるNLPが実施された。
19年 6月	横田基地所属のUH1Nヘリが横浜市金沢区内の公園に不時着。
19年 12月	厚木基地第四次騒音訴訟が提起された。
20年 6月	横田基地所属のUH1Nヘリが相模川河川敷に不時着。
21年 2月	綾瀬市上空でFA18Eスーパーホーネットからゴム製シールが落下した。
22年 1月	FA18Eスーパーホーネットから金属製部品が落下し、綾瀬市内の民家の一部を破損した。
22年 3月	FA18Cホーネットから金属製部品が落下した。
23年 2月	寒川町上空で第五空母航空団所属のヘリから金属製ブイが落下した。 平塚市内の相模川河川敷に厚木基地所属のヘリが緊急着陸した。
24年 2月	EA6Bプラウラーから機体外部パネルが落下した。
24年 3月	EA6Bプラウラーの後継機として、EA18Gグラウラーが厚木基地に配備された。
24年 5月	厚木基地で、5年ぶりに空母艦載機着陸訓練が昼夜にわたり実施された。

住民から寄せられた騒音被害に関する意見

平成24年5月22日～24日の厚木基地空母艦載機着陸訓練実施の際に寄せられた苦情の中から代表的なものを掲載します。

文末の()内はご意見を寄せられた方の住所地。

騒音、時間等に関する意見

○今日の騒音のひどさは過去最大級であり、この怒りを伝えたくて電話した。短時間に何十回という騒音に心臓が痛い。せめて夜間はやめてもらいたい。(海老名市)(町田市)

○戦争でもしているかのような騒音で異常だと感じる。戦争の記憶がよみがえって辛い。

(藤沢市)(海老名市)(横浜市)(町田市)

○訓練は9時から20時までと発表されていたが、実際は深夜に渡り数分の間隔で飛行している。20時までという約束違反であることを強く基地に抗議する。

(相模原市)(藤沢市)(茅ヶ崎市)(座間市)(横浜市)(町田市)

○米軍機の騒音がもの凄くテレビの音も聞こえない、会話すらできない。節電なのに窓を開けることもできない。低空飛行し過ぎで怖い。生活に著しく支障をおよぼしている。

(綾瀬市)(相模原市)(藤沢市)(茅ヶ崎市)(横浜市)(町田市)

○今日で3日目、こんなひどい爆音を朝から夜まで浴びせられて、ストレスと体調不良で耐えられない。(大和市)

○航空機騒音の激しさと、頭痛が止まらない。家庭では子供が非常に怖がっている。また学校では米軍機の騒音で授業が中断してしまうと聞いている。病院等公共施設にも深刻な影響を及ぼしている。(大和市)(綾瀬市)(藤沢市)(茅ヶ崎市)(海老名市)

○騒音が激しく、電話の声も聞き取れず仕事にならない。また、夜勤なのに眠れない。事故を起こすのではないかと心配だ。(綾瀬市)(海老名市)

○航空機騒音に掻き消されて、防災無線が聞こえなかった。津波だったらどうするのか。

(藤沢市)

訓練や飛行に関する情報提供に関する意見

○なぜ、事前に情報を伝えず、こんなに遅い通告なのか。せめてしばらく騒音が続くと事前に知らせる義務があるのではないかと。(綾瀬市)(茅ヶ崎市)(横浜市)(町田市)

○ただ今 22時を過ぎているが、なぜ、この時間まで訓練が延びているのかHPに書いて欲しい。また、情報をテレビや新聞等で示して欲しい。(座間市)(町田市)

○以前とは違うルートを飛行しているように感じる。住宅防音工事助成対象地域外の真上を飛行している。住宅防音工事の助成対象地域外にも関わらずこの騒音はひどすぎる。また、ルート変更や訓練の詳細をなぜ教えてくれないのか。あまりにも勝手ではないか。

(茅ヶ崎市)(海老名市)(横浜市)(町田市)

国の対応や施策に対する意見

○直前に米軍から訓練の通告を受けてあっさり受け入れるのも納得がいかないし、20時を越えて訓練しているにも関わらず米側に対して何らかの対応する気配が全く感じられないことに憤りを覚える。国はもっと強く米側に抗議してほしい。

(相模原市)(藤沢市)(横浜市)(町田市)

○国の窓口は常時通話中で対応してくれなかった。(相模原市)

自治体の対応や施策に対する意見

○沖縄について第二の基地県である神奈川県はもっと日米両政府に向けて抗議の声をあげるべきだ。国にこの激しい騒音被害の実情を伝えてほしい。(綾瀬市)(藤沢市)(横浜市)

○訓練実施にかかわる広報が足りない、自治体はHPのトップで県民に周知してほしい。

(藤沢市)

○地元自治体として、要請を続けていくと共に、本来の説明とずれている飛行ルート等を含め、この訓練に関して調査をして、しかるべき対策を講じてもらいたい。(町田市)

米国、米軍に対する意見

○朝から爆音を轟かせている米軍に怒りをおぼえる。近隣住民への迷惑を米軍は無視している。(大和市)(町田市)

○訓練だろうがなんだろうが、米軍には市民の生活を妨害する権利はないはずだ。厚木基地の周辺には多くの住民がいる。それにも関わらず信じられないほどの低空飛行。なぜ米軍は自国で訓練をしないのか。(大和市)(藤沢市)(町田市)

○厚木基地へ電話で問い合わせても繋がらない。どのように問い合わせるべきであるかさえ分からなかった。(藤沢市)(町田市)

○地元自治体からの激しい抗議要請にも関わらず、米軍は訓練を3日間も継続した。非常に心外だ。(相模原市)(藤沢市)(横浜市)(町田市)